

ムーンバット株式会社

MOONBAT REPORT

第83期
期末

2023. 4. 1-2024. 3. 31

証券コード：8115



株主の皆様へ



代表取締役
社長執行役員

鎌田 尚

平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。
ここに当社グループ第83期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、その概況につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、資源価格の上昇、為替相場の円安の進行、物価の上昇、地政学的リスクの高まり等複合的な不確実性はあるものの、新型コロナウイルス感染症の沈静化により、経済活動の活性化が進み、企業業績と雇用・所得環境の改善から、緩やかな回復基調にあります。

服飾雑貨業界におきましても、継続的な原材料価格の上昇に加え円安の進行による仕入価格の上昇はあったものの、新型コロナウイルス感染症の沈静化により人流が回復し、個人消費が堅調に推移し、インバウンド消費も伸長していることから、百貨店・専門店を中心とした各販路の販売は好調に推移し、市況は回復傾向にあります。

こうした状況の下、当社グループにおいては、人流の回復に伴い各商業施設の集客が増加し、また、猛暑のプラス影響が、暖冬のマイナス影響を上回り、季節商材を中心に各販路における販売が好調に推移したこと、売上高は前連結会計年度を上回りました。継続的な原材料価格の上昇に加え円安の進行による仕入価格の上昇はあったものの、各販路に対する最適な商品配置による効率的な仕入販売に加え、商品価格の一部見直し、プロパー販売の促進等が奏功し、売上総利益及び売上総利益率も前連結会計年度を大幅に上回りました。

当期が最終年度となる第1次中期経営計画に基づく経営方針より、引き続き成長領域である専門店等の販路拡大、Eコマース事業及び直営店事業である「+moonbat」（プラスムーンバット）等の小売事業の強化を推進し、継続的な新規商品の仕入の抑制による在庫圧縮、構造改革による販売管理費等の適正化に努めた結果、損益面も売上増加に伴う販売関連経費の増加を吸収し計画を大幅に上回りました。

その結果、連結売上高は106億10百万円（前年同期比10.7%増）、連結営業利益は4億34百万円（前年同期比281.3%増）、連結経常利益は4億88百万円（前年同期比177.1%増）となりました。特別損失として、上述の第1次中期経営計画の構造改革推進による物流部門の見直し計画に基づき、事業構造改善費用として80百万円計上し、また、当連結会計年度及び今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当連結会計年度に繰延税金資産を計上し、法人税等調整額（益）が2億6百万円となったことから、親会社株主に帰属する当期純利益は5億45百万円（前年同期比287.9%増）となりました。

資源価格の上昇、為替相場の円安の進行等の影響は引き続き受けるものの、緩和的な金融政策や好調な企業業績に支えられ、勤労者所得の改善、旺盛なインバウンド需要が見込まれることから、国内経済は、緩やかな回復基調が続くものと予想しております。

このような情勢の中、当社グループは2024年5月策定の「第2次中期経営計画」において、成長戦略として、「専門店マーケットへの商品開発及びマーケティングの強化」、「直営店・小売事業の拡大に向けた新たな店舗戦略の展開」、「Eコマース事業の更なる拡大」、「国内外の新規販路開拓」の4つの施策を掲げております。また、その前提として、自社ブランドの育成・確立、人材投資の積極化による採算性、生産性の向上を目指し、各販路に対する最適な商品・人的配置、リスクとコストを意識したサプライチェーンの再構築と適時適切な仕入販売コントロールによる在庫の最適化、DX（デジタルトランスフォーメーション）の高度化・活用を含めた販売管理費のコントロールを実行し、次期中期経営計画での更なる飛躍を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業の概況

<部門別業績>

(洋傘部門)

当連結会計年度の売上高は、57億46百万円、前年同期比10.5%増収となりました。

洋傘部門につきましては、商業施設の集客の増加に伴い、雨傘を含めたレイングッズの展開、販売が好調に推移しました。また、猛暑の影響によりパラソルマーケットが活況を呈したこと、専門店マーケットへの商品開発、マーケティング等のアプローチの強化も奏功し、売上高は前年同期を大きく上回りました。

(洋品部門)

当連結会計年度の売上高は、19億61百万円、前年同期比10.1%増収となりました。

洋品部門につきましては、暖冬の影響もあり、秋冬物の販売が伸び悩んだものの、消費者ニーズにきめ細かく対応し、一部ブランドを中心にインバウンド消費の取り込みにも成功したことから、売上高は前年同期を上回りました。

(帽子部門)

当連結会計年度の売上高は、22億40百万円、前年同期比19.4%増収となりました。

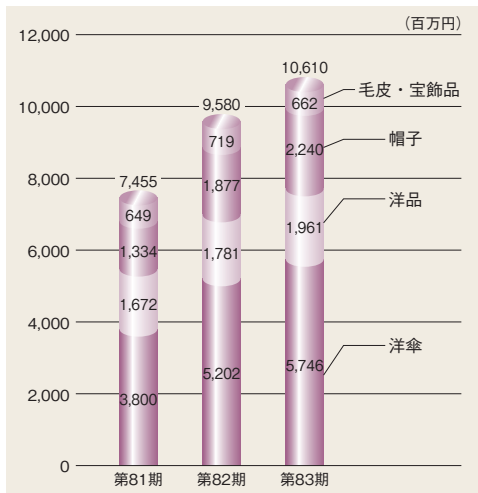
帽子部門につきましては、商業施設の集客の増加、気温が高めに推移したこともあり、各販路において販売が好調に推移し、インバウンドを中心とした一部ブランド品の人気も維持していることから、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

(毛皮・宝飾品部門)

当連結会計年度の売上高は、6億62百万円、前年同期比8.0%減収となりました。

毛皮・宝飾品部門につきましては、富裕層のレジャー消費等の活発化により当社商品の引き合いが減少し、また、暖冬の影響により、秋冬商戦も苦戦したことから、毛皮リフォーム・リメイク等のサステナブルな提案、百貨店外商ルートの活用及び催事展開も注力したものの、売上高は前年同期を下回りました。

事業区分別売上高の推移



当社グループの財産及び損益の状況の推移

区 分	第80期 (2021年3月期)	第81期 (2022年3月期)	第82期 (2023年3月期)	第83期 (当連結会計年度 2024年3月期)
売上高(百万円)	7,170	7,455	9,580	10,610
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	△607	△449	176	488
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△1,858	△379	140	545
純資産(百万円)	5,066	4,503	4,555	5,055
総資産(百万円)	11,266	11,063	10,330	9,876
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)(円)	△389.09	△79.52	29.98	119.26
1株当たり純資産額(円)	1,061.14	944.77	987.73	1,113.78

財務諸表の概要 (連結)

●連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 (2024年3月31日現在)	前期 (2023年3月31日現在)	科目	当期 (2024年3月31日現在)	前期 (2023年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	6,036	6,643	流動負債	4,272	5,144
現金及び預金	1,044	891	支払手形及び買掛金	527	580
受取手形及び売掛金	1,745	2,156	電子記録債務	235	141
棚卸資産	2,626	2,792	短期借入金	2,200	2,700
返品資産	434	657	1年内返済長期借入金	23	78
その他	193	158	未払法人税等	63	54
貸倒引当金	△ 8	△ 14	賞与引当金	83	62
固定資産	3,839	3,687	返金負債	669	1,035
有形固定資産	2,574	2,608	その他	470	492
土地	1,677	1,677	固定負債	548	630
その他	896	930	長期借入金	146	169
無形固定資産	302	295	退職給付に係る負債	315	312
投資その他の資産	962	783	その他	86	148
投資不動産	382	392	負債合計	4,820	5,775
その他	608	419	純資産の部		
貸倒引当金	△ 28	△ 28	株主資本	4,912	4,444
資産合計	9,876	10,330	資本金	1,000	1,000
			資本剰余金	2,856	2,856
			利益剰余金	1,183	665
			自己株式	△ 126	△ 77
			その他の包括利益累計額	143	111
			その他有価証券評価差額金	78	54
			繰延ヘッジ損益	—	8
			為替換算調整勘定	54	37
			退職給付に係る調整累計額	10	10
			純資産合計	5,055	4,555
			負債及び純資産合計	9,876	10,330

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益及び包括利益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当期	前期
	(2023年4月1日から 2024年3月31日まで)	(2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
売上高	10,610	9,580
売上原価	6,171	5,879
売上総利益	4,438	3,700
販売費及び一般管理費	4,004	3,586
営業利益	434	114
営業外収益	94	106
営業外費用	40	43
経常利益	488	176
特別利益	—	10
特別損失	80	—
税金等調整前当期純利益	408	186
法人税、住民税及び事業税	70	43
法人税等調整額	△ 206	2
親会社株主に帰属する当期純利益	545	140
包括利益	577	140

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当期	前期
	(2023年4月1日から 2024年3月31日まで)	(2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	910	1,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 31	70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 741	△ 921
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	153	233
現金及び現金同等物の期首残高	891	657
現金及び現金同等物の期末残高	1,044	891

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結株主資本等変動計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	其他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,000	2,856	665	△ 77	4,444	54	8	37	10	111	4,555
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 27		△ 27						△ 27
親会社株主に帰属する当期純利益			545		545						545
自己株式の取得				△ 49	△ 49						△ 49
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						23	△ 8	17	0	31	31
連結会計年度中の変動額合計	—	—	517	△ 49	467	23	△ 8	17	0	31	499
当期末残高	1,000	2,856	1,183	△ 126	4,912	78	—	54	10	143	5,055

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表の概要（単体）

●貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 (2024年3月31日現在)	前期 (2023年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,477	6,223
固定資産	4,270	4,117
資産合計	9,748	10,341
負債の部		
流動負債	4,383	5,342
固定負債	511	590
負債合計	4,895	5,933
純資産の部		
株主資本	4,774	4,344
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	2,854	2,854
利益剰余金	1,047	567
自己株式	△ 126	△ 77
評価・換算差額等	78	63
その他有価証券評価差額金	78	54
繰延ヘッジ損益	—	8
純資産合計	4,852	4,407
負債及び純資産合計	9,748	10,341

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)	前期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
売上高	9,981	8,919
売上原価	6,131	5,749
売上総利益	3,849	3,170
販売費及び一般管理費	3,511	3,137
営業利益	337	33
営業外収益	131	183
営業外費用	42	46
経常利益	427	170
特別利益	—	10
特別損失	80	—
税引前当期純利益	347	180
法人税、住民税及び事業税	45	26
法人税等調整額	△ 206	△ 1
当期純利益	508	154

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

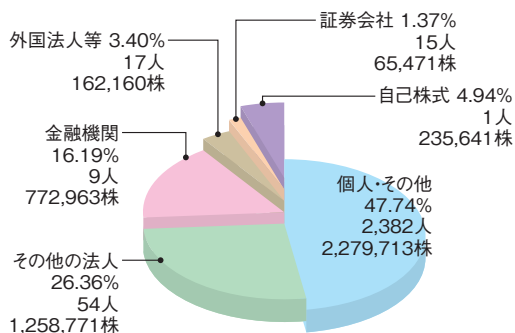
株式の状況 (2024年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 15,000,000株
- 発行済株式の総数 4,539,078株
(自己株式235,641株を除く)
- 株主数 2,478名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
株式会社ニード	602	13.27
八木通商株式会社	400	8.81
ムーンバット持株共栄会	293	6.47
株式会社三井住友銀行	227	5.00
河野正行	210	4.63
株式会社京都銀行	170	3.75
日本生命保険相互会社	160	3.53
京都中央信用金庫	146	3.23
ムーンバット役員持株会	139	3.06
岡本縁	115	2.55

(注) 持株比率は自己株式(235,641株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



会社の概要 (2024年3月31日現在)

社名 ムーンバット株式会社
 英文社名 MOONBAT CO., LTD.
 本社 京都市下京区室町通四条南入鶏鉾町493番地
 東京本部 東京都千代田区九段北4-1-3
 飛栄九段北ビル4階
 支店 東京・京都・福岡
 創業 明治18年3月(西暦1885年)
 設立 昭和16年9月(西暦1941年)
 資本金 10億円
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 従業員 175名(連結)・124名(単体)
 事業内容 洋傘・洋品・毛皮・レザー・宝飾品・帽子などの
 アクセントファッション商品の企画、輸入、製造、
 仕入、販売等を主な事業内容としております。
 ホームページアドレス <https://www.moonbat.co.jp>

重要な子会社の状況

会社名	資本金	主要な事業内容
ルナ株式会社	60,000千円	毛皮・宝飾商品の企画販売
東京ファッションプランニング株式会社	48,720千円	物流業務の受託、デザインの企画
株式会社グローリー	35,200千円	洋傘、バラソル等の製造、加工、販売
エクセレントスタッフ株式会社	26,000千円	販売業務の業務請負等
A.F.C. ASIA LIMITED	1,000千香港\$	貿易業

取締役及び執行役員 (2024年6月27日現在)

代表取締役・会長執行役員 中村卓司
 代表取締役・社長執行役員 鎌田尚 事業本部長
 取締役・常務執行役員 山本聡 管理本部長(兼) リスク管理・コンプライアンス担当
 取締役・執行役員 原田尚宏 百貨店事業部長(兼) 百貨店事業部営業統括(兼) 東京支店長(兼) 直営店開発事業部長
 取締役(監査等委員) 山田隆二
 社外取締役(監査等委員) 郷田紀明 公認会計士
 社外取締役(監査等委員) 安川文夫 公認会計士
 常務執行役員 鈴木康史 戦略事業部担当(兼) チェーンストア事業部担当(兼) 戦略事業部長(兼) チェーンストア事業部長

株 主 メ ト

- *事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- *定時株主総会 毎年6月開催
- *基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日（中間配当をする場合）
その他必要な場合はあらかじめ公告いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

- ・証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- ・証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、下記の電話照会先にご連絡ください。
- *株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- *株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
東京都杉並区和泉二丁目8番4号（〒168-0063）
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
- *公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (<https://www.moonbat.co.jp>) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- *上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

《ご案内》配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様へ

- より早く、安全、確実に配当金をお受け取りいただくために、銀行預金口座への振込によるお受け取りをお勧めいたします。手続きについてのお問い合わせ先は次のとおりです。
- ・証券会社に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社へお問い合わせをお願いいたします。
 - ・証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の三井住友信託銀行株式会社へお問い合わせをお願いいたします。

【表紙の写真】



表紙の商品は：Fuwacool 2024春夏コレクション
詳しくは弊社ホームページをご覧ください。



本社 〒600-8491 京都市下京区室町通四条南入鶏鉾町493番地
TEL (075) 361-0381 (代表) FAX (075) 371-0171
<https://www.moonbat.co.jp>